

トピックス

地元からも注目！宮城県での新工場への移転決定

スタンレー電気株式会社

～スタンレー宮城新工場立地協定式・プレスリリース～

スタンレー宮城は将来の事業拡張を見据えた新工場への移転を決定し、4月11日(金)に、宮城県、および登米(とね)市との協定を締結するとともに、移転の概要を報道陣に発表しました。

スタンレー宮城では現在、LED照明製品、光学レンズシート・超薄型導光板、その他電子機器製品を生産していますが、将来の自動車照明製品の本格生産を目指し、手狭となる現工場を売却して登米市迫(はさま)町に建設する新工場に移転することに致しました。



【協定式の様子】

宮城県庁で行われた協定式には同県知事・村井嘉浩氏、登米市長・布施孝尚氏、当社から平塚取締役、スタンレー宮城・熊谷社長が出席し、新工場建設に関する協定書を三者間で取り交わしました。その後の記者会見には約10社のメディアが集まり、活発な取材活動に、特に地元の注目の高さがうかがえました。

既にスタンレー宮城では、将来の布石として自動車補修用部品の生産が開始されていますが、新工場移転(2015年9月稼動予定)により、さらに付加価値生産性の高い拠点として大きく飛躍することが期待されています。